

2:1 エペソにある教会の御使いに書き送れ。『右手に七つの星を握る方、七つの金の燭台の間を歩く方が、こう言われる――。

2:2 わたしは、あなたの行い、あなたの労苦と忍耐を知っている。また、あなたが悪者たちに我慢がならず、使徒と自称しているが実はそうでない者たちを試して、彼らを偽り者だと見抜いたことも知っている。

2:3 あなたはよく忍耐して、わたしの名のために耐え忍び、疲れ果てなかった。

2:4 けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった。

2:5 だから、どこから落ちたのか思い起こし、悔い改めて初めの行いをしなさい。そうせず、悔い改めないなら、わたしはあなたのところに行って、あなたの燭台をその場所から取り除く。

2:6 しかし、あなたにはこのことがある。あなたはニコライ派の人々の行いを憎んでいる。わたしもそれを憎んでいる。

2:7 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。勝利を得る者には、わたしはいのちの木から食べることを許す。それは神のパラダイスにある。』

2:8 また、スミルナにある教会の御使いに書き送れ。『初めであり終わりである方、死んでよみがえられた方が、こう言われる――。

2:9 わたしは、あなたの苦難と貧しさを知っている。だが、あなたは富んでいるのだ。ユダヤ人だと自称しているが実はそうでない者たち、サタンの会衆である者たちから、のしられていることも、わたしは知っている。

2:10 あなたが受けようとしている苦しみを、

何も恐れることはない。見よ。悪魔は試すために、あなたがたのうちのだれかを牢に投げ込もうとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあう。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与える。

2:11 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。勝利を得る者は、決して第二の死によって害を受けることはない。』

七つの教会が出てきますが、どれも当時の代表的な教会であり、また同時にその特徴はいつの時代の教会にも当てはまるものでしょう。

エペソの教会には、労苦と忍耐、そして偽りを見抜いたこと、さらには忍耐が賞賛されています。しかし「初めの愛から離れてしまった。」と残念なところが指摘されます。

私たちはどうでしょうか。主に喜ばれることは多くても、愛から離れてしまったら喜びがなく、辛いだけの忍耐になってしまいます。主の愛にとどまるには、主の愛のことばを頂くことです。または祈りに答えていただくことです。いのちの木から食べるように喜びと楽しみを感じることでしょう。

スミルナの教会は、七つの教会の中で唯一叱責のない教会です。人間的に表面だけを見るなら「苦難と貧しさ」ばかりが目立つようでも、神様の目から見ると「富んでいます」と言われます。

私たちもそうありたいものです。主はスミルナの教会の人々に大なる天の宝を備えておられたということでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

